学校番号	3002

令和８年度　農業科(資源動物科)

教科	農業	科目	畜産	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	農業 718　「畜産」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、畜産に関しての知識･技術を理解するとともに、自らの考えを、周りの人と共有、協働で考える活動を行います。
・畜産のもつ多面的な役割について理解を深めることやそれらを総合的に考えることで、総合実習や課題研究での課題解決に活かせるように積極的に取り組みましょう。
・ 授業中のノートについてはスライドを書き写すだけでは評価の対象にはなりません、授業のポイントや、自身の考え、気付きを記入していきましょう。
・定期的に授業内容をより深く考えるための課題を出します。評価の対象となりますので最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
日本の畜産について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
畜産の多面的な役割に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
畜産について理解を深め、畜産物の生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地域環境と安全に配慮した畜産物の生産から消費までの食料供給のしくみを理解するとともに、日本の畜産について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けるようにする。	地域環境と安全に配慮した畜産物の生産から消費にいたるまでを多面的に考察するとともに畜産の多面的な役割に関する課題の発見をすることで農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	日本の畜産について体系的･系統的に理解を深め、畜産物の生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、畜産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	日本の畜産の特徴	○世界のなかの畜産 ○立地と畜産の種類 ○急激な規模拡大をとげた日本の畜産 ○輸入穀物飼料に依存する日本の畜産	a:日本の畜産について世界と比較しその特徴を理解している。 ・家畜の用途と品種改良、各家畜の利用について比較し、日本における畜産および家畜の役割について比較することができる。 ・世界の家畜の原産地と飼育頭羽数との関係について理解している。 b:日本の畜産と世界の畜産を比較し地域環境と安全に配慮した畜産物の生産から消費にいたるまでを多面的に考察することができる。 c:日本の畜産の特徴に関心をもち、世界の畜産との共通点および違いなどを理解しようと意欲的に取り組んでいる。	課題 定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察
	日本における畜産物の需給の動向	○畜産物の需要の動向 ○畜産物の需要の特徴 ○減少傾向にある畜産物自給率	a:畜産物の需給の動向などについて、データをもとにまとめることができる。 b: 日本の食料自給率と畜産物の供給、利用について考察し、その活用について判断することができる c:自分たちの食生活を見つめるなかで、畜産物の需要について関心をもち、調べることができる。	課題 定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察

2学期	畜産の役割と課題	○重要な食料の供給減としての畜産 ○地域経済における畜産の重要性 ○地域の農地や環境の守り手としての畜産 ○『食農教育』『命の教育』のための畜産の重要性 ○畜産の課題	a:畜産が食料生産において果たしている役割と畜産の課題について理解している。 b:「食料生産」「地域産業」「環境保全」「食育」といった畜産のもつ多面的な役割について、総合的に考えることができる。 c:畜産業のもつ多面的機能について理解しようとしている。	課題 定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察
	科学の発展と畜産への活用	○家畜育種分野の成果と役割 ○生殖分野における発展と人間への応用	a: 科学の発展が、畜産分野においてどのように活用されているか把握し、理解している。 b:科学の発展から活用されている畜産を多面的に考察し、これからの畜産のあり方を判断することができる。 c:日本の畜産業が現在にいたった経緯について科学の発展の面から理解しようとている。	課題 定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察
3学期	科学の発展と畜産への活用	○畜産物の第3次機能 ○人間と動物の関係分野の発展	a:科学の発展が、畜産分野においてどのように活用されているか把握し、理解している。 b: 科学の発展から活用されている畜産を多面的に考察し、これからの畜産のあり方を判断することができる。 c:日本の畜産業が現在にいたった経緯について科学の発展の面から理解しようとている。	課題 定期考査	ノート 課題 定期考査	ノート 課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度